

## 第3章

# 韓国青年日本招へい

行動地図

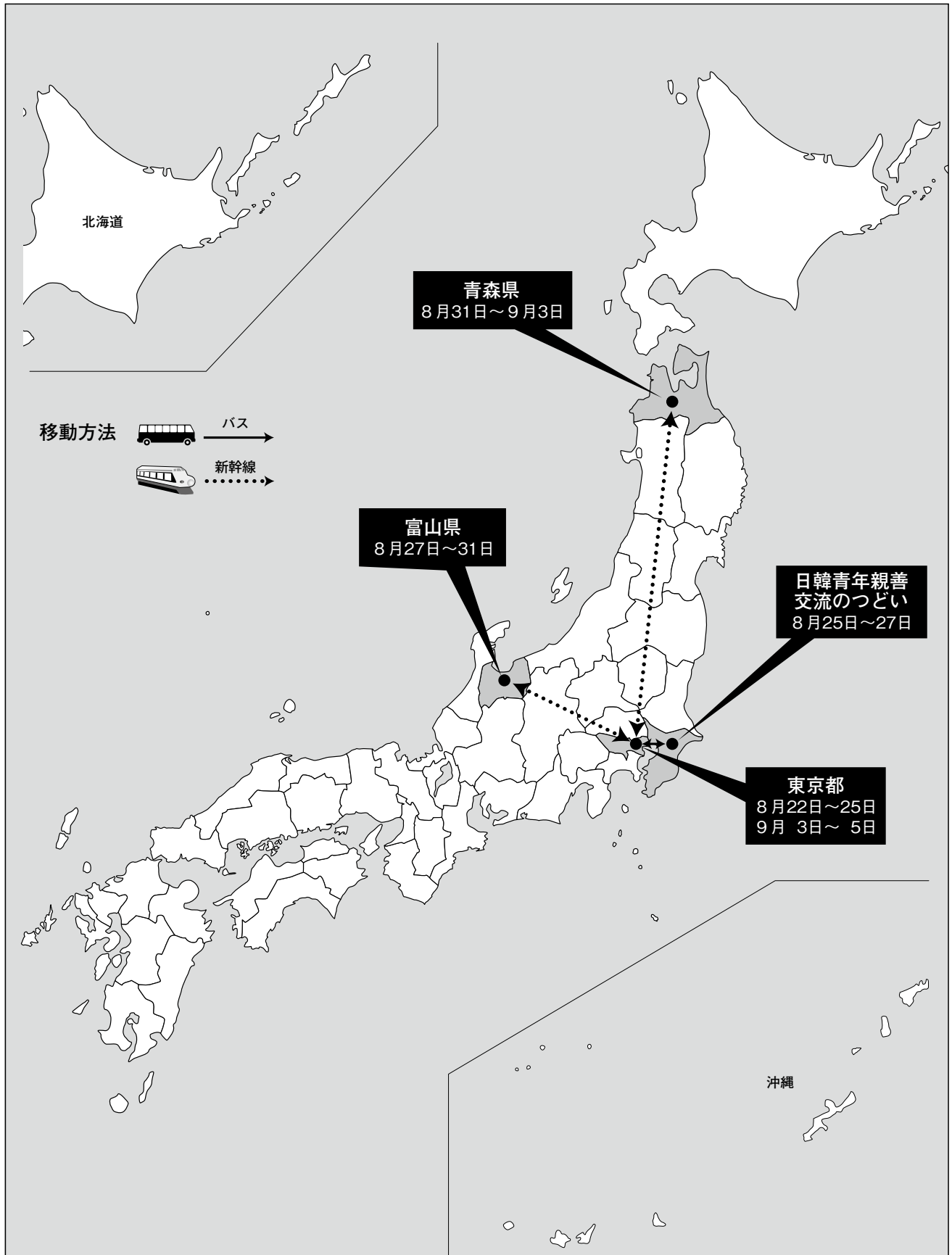
行動記録

事業報告



# 行動地図

令和5年度 韓国青年日本招へい



# 行動記録

令和5年度 韓国青年日本招へい

	月日	時間	行動日程	滞在都市
1	8月22日 (火)	11:50 15:45-16:15 16:30-18:00  18:15 19:00-20:00	東京（成田）着（OZ102） 由布和嘉子内閣府青年国際交流担当室長表敬訪問 オリエンテーション ・ 歓迎挨拶 ・ 事業概要説明 ・ 全体日程及び注意事項説明 ・ 質疑応答  ホテル着 夕食	東京 ↓
2	8月23日 (水)	《課題別視察》 11:30-13:30 14:00-16:00  18:30-20:30	昼食 首都圏外郭放水路訪問 ・ 施設概要説明 ・ 調圧水槽や立坑の見学 ・ 質疑応答  由布和嘉子内閣府青年国際交流担当室長主催歓迎会 ・ 由布和嘉子内閣府青年国際交流担当室長挨拶 ・ 羅泰俊韓国青年代表団団長挨拶 ・ 記念撮影 ・ 乾杯 ・ 歓談 ・ パフォーマンス	
3	8月24日 (木)	《課題別視察》 9:20-11:00  11:30-12:00 12:00-13:00 14:00-16:00  19:00-20:30	東京消防庁池袋防災館訪問 ・ 地震体験 ・ 煙体験 ・ 消火体験 ・ VR体験  豊島区立としまみどりの防災公園視察 昼食 特定非営利活動法人100万人のふるさと回帰・循環運動推進・支援センター訪問 ・ 日本の地方自治の概要と地方が抱える課題に関する講話 ・ 地方移住に関する講話 ・ 組織の活動紹介 ・ 施設見学 ・ 質疑応答  夕食	
4	8月25日 (金)	《日韓青年親善交流のつどい》 10:30 11:30 12:00-13:00 13:30-14:15 14:40-17:00 18:00-20:30	日本青年施設着、会場見学 韓国青年施設着 昼食 開会式、オリエンテーション アイスブレイク 夕食懇談会	千葉 ↓

	月日	時間	行動日程	滞在都市
5	8月26日 (土)	9:00-12:00  12:00-13:00 13:00-15:00 15:15-18:00 18:00-20:00 20:00-21:00	ディスカッション ①少子高齢化 ②青少年の入試競争 ③日韓の青少年の価値消費（イミ消費） ④メディア・リテラシー ⑤AIの発展と考慮すべき問題点  昼食 文化体験企画 ミニオリンピック 夕食 日韓文化交流の夕べ ・韓国青年によるレクリエーション ・日本青年による文化紹介	千葉 ↓
6	8月27日 (日)	9:00-10:50 10:50-11:00 11:15-11:45 11:45-12:45 12:50 13:50 14:52  《富山県プログラム》 17:02 17:20-18:00 19:00-20:30 20:45	ディスカッション成果発表 マニト結果発表、3日間の振り返り 閉会式 昼食 施設発 東京駅着、日本青年解散 東京駅発（かがやき533号）  富山駅着 富山市国際交流センター訪問 ・オリエンテーション 夕食交流会 ホテル着	富山 ↓
7	8月28日 (月)	9:15-10:00  10:15-11:30 11:45-13:00 13:30-16:30  18:30-20:30  21:00	富山県庁表敬訪問 ・松井邦弘富山県こども家庭支援監挨拶 ・羅泰俊韓国青年代表団団長挨拶 ・記念品交換 ・記念撮影 ・「富山の魅力」紹介 富山市国際交流センター訪問 ・富山市の出前講座「富山市のSDGs取り組み『SDGs未来都市』について」 昼食 地元青年とディスカッション及び交流（前半） ・自己紹介 ・ディスカッション ①環境 ②地域活性化 ③産業とものづくり 歓迎交流会 ・実行委員長挨拶 ・羅泰俊韓国青年代表団団長挨拶 ・乾杯 ・韓国青年によるパフォーマンス（5分） ・記念撮影 ホテル着	富山 ↓

	月日	時間	行動日程	滞在都市
8	8月29日 (火)	9:00-12:00  12:15-13:20 13:45-15:15  15:30	地元青年とディスカッション及び交流（後半） ・ディスカッションのまとめ ・ディスカッション発表 ・質疑応答、講評  昼食 株式会社タニハタ訪問 ・SDGsの取り組みについての講義 ・組子細工づくり体験  自由視察及び夕食	富山
9	8月30日 (水)	8:50-12:00  12:20-13:15 13:25-13:45 14:50-15:50 18:30-20:00 20:15	高岡プログラム（テーマ：伝統産業の継続） ・高岡大仏 ・高岡御車山会館 ・金屋町見学  昼食 海王丸パーク散策 富山県立イタイイタイ病資料館訪問 夕食送別会 ホテル着	
10	8月31日 (木)	9:47 12:11 12:45  15:29 17:00-18:00 18:00-19:30	富山駅発（はくたか558号） 大宮到着 大宮駅発（はやぶさ23号）、車中昼食  《青森県プログラム》 新青森到着 オリエンテーション 夕食	青森
11	9月1日 (金)	9:00-12:30  13:30-14:00  14:15-16:30 18:00-20:00	青森市立北小学校訪問 ・児童との文化交流 ・閉会式 ・給食体験  小谷知也青森県副知事表敬訪問 ・小谷知也青森県副知事挨拶 ・羅泰俊韓国青年代表団団長挨拶 ・記念品交換 ・記念撮影  裂織ワークショップ 歓迎会及びホームステイマッチング	
12	9月2日 (土)	終日	ホームステイ	
13	9月3日 (日)	13:15 13:52 17:04 18:00	ホームステイから帰着 新青森駅発（はやぶさ28号） 東京到着 自由視察及び夕食	東京
14	9月4日 (月)	10:00-12:00  13:00-14:00 14:30-18:30 19:00	評価会 ・グループディスカッション ①本事業に参加して学んだこと ②今後この経験をどのようにいかしていきたいか ③プログラムへの要望等 ・グループディスカッション成果発表 ・内閣府による総評  由布和嘉子内閣府青年国際交流担当室長主催歓送昼食会 日本青年との都内体験プログラム 自由視察及び夕食	
15	9月5日 (火)	11:00 13:20	成田空港着 東京（成田）発（OZ101）	

# 事業報告

令和5年度 韓国青年日本招へい

内閣府は、令和5年度日本・韓国青年親善交流事業（第34回）による韓国青年代表団の招へいを、令和5年（2023年）8月22日から9月5日までの15日間の日程で実施した。

代表団は、女性家族部青少年保護環境課事務官の羅泰俊（ナ・テジュン）団長を始め、副団長、通訳及び団員の合計30名で構成された。

各地における活動の概要は、以下のとおりである。

## 東京プログラム（8月22日～24日）

8月22日11時50分、成田国際空港に到着した韓国青年代表団は、内閣府にて由布和嘉子内閣府青年国際交流担当室長を表敬訪問した後、滞在日程や事業概要についてのオリエンテーションを受け、事業全般に対する理解を深めた。

8月23日、課題別視察として防災をテーマに首都圏外郭放水路を訪問した一行は、施設の概要について説明を受けた後、立坑や調圧水槽等の実際の設備を見学し、洪水対策について理解を深めた。韓国青年からは「日本では以前から非常に大きく長い放水路を作って洪水に備えている点がとても印象的だった。韓国青年にも興味深いテーマだったと思う。」「首都圏にこのような施設があることを初めて知り、地形的な問題とその解決方法を知ることができて良かった。」等の感想があった。

18時30分から都市センターホテルにて、由布和嘉子内閣府青年国際交流担当室長主催の歓迎会が開催された。内閣府幹部を始め、青少年団体関係者、青年国際交流事業既参

加者等多数の出席者を前に、韓国青年は文化紹介としてダンスや歌等を披露し、盛況であった。

8月24日午前、一行は課題別視察として防災をテーマに東京消防庁池袋防災館を訪問した。地震体験や消火体験等を通じ、災害に対する備えや実際の発生時における対処方法について理解を深めた。

午後は、地方創生をテーマに、特定非営利活動法人100万人のふるさと回帰・循環運動推進・支援センターを訪問した。日本における人口減少に伴う課題や地方移住の実情等の説明を受け、地方創生について考えるきっかけとなった。韓国青年からは「地域活性化に向けた日本の政策について詳しく知ることができ、多様な考え方を聞き、多くのことを学んだ時間だった。」「日本での活動期間中、一番良い学びの時間だったし印象深かった。今回のプログラムを通じて地域活性化に関する日本の方針やその実態について実体験に基づいた話を聞くことができ、いろいろと考えさせられる良い時間だった。」等の感想があった。



由布室長の質問に青年が答える  
(内閣府表敬訪問)



地震・火災・風水害をVRで疑似体験する  
(東京消防庁池袋防災館)



施設を見学しながら、職員から説明を受ける  
(首都圏外郭放水路)



日本の地方が抱える課題や地方移住について話を聞く  
(特定非営利活動法人100万人のふるさと回帰・循環運動推進・支援センター)



## 日韓青年親善交流のつどい(8月25日～27日)

8月25日から27日まで、千葉県富里市にあるインターナショナルリゾートホテル湯楽城で日韓青年親善交流のつどいを開催した。参加者は、韓国青年代表団、内閣府青年国際交流事業既参加青年及び一般参加青年からなる日本青年と日韓青年親善交流のつどい実行委員の約80名であった。

プログラムの企画に当たっては、実行委員14名が、7月中旬から準備を開始し、実行委員会に加えて、係別ミーティング等を精力的に行った。

今年度は「まるっとチングハジャ」というテーマを設定した。「チングハジャ」は韓国語で「友達になろう」という意味で、互いの言語ができなくても「チングハジャ」の一言で、両国の青年同士が「まるっと」つながってほしいという思いを込めた。

プログラムは、ディスカッションや日韓文化交流の夕べ、ミニオリンピック等で構成した。

ディスカッションでは、韓国側からの希望により「少子高

齢化」、「青少年の入試競争」、「日韓の青年の価値消費」、「メディア・リテラシー」、「AIによる失業等問題点と解決方法」の五つのテーマで討論した。青年たちはグループに分かれ、各テーマについて両国の現状や問題点、解決方法等について意見交換し、有意義な時間を過ごした。

日韓文化交流の夕べでは、韓国青年による文化紹介やレクリエーション、日本青年による浴衣や制服等を披露するファッションショーやパフォーマンスが行われ、互いの文化に触れる機会になった。最後にはテーマにちなんで全員で円になって盆踊りを踊り、日本の夏の伝統行事を体験した。

ミニオリンピックでは、日韓混合で6チームを作り、日本と韓国にまつわる〇×クイズやチームワークが必要となるゲームを行い、チーム対抗で得点を競い合っって絆を深めた。

日韓両国の青年たちはこのような様々な活動を通じて互いに友好と理解を深め、令和5年度日韓青年親善交流のつどいを成功裏に終えた。

### 目的

日韓青年親善交流のつどいは日本・韓国青年親善交流事業に参加している韓国招へい青年と、内閣府青年国際交流事業既参加青年及び一般参加青年からなる日本青年が一堂に会し、研修施設での生活を共にすることにより、両国青年が相手国に対する相互理解、異文化理解の促進を図り、国際交流活動における感覚を向上させることを目的として実施する。

### 概要

- |          |   |
|----------|---|
| (1) 事業名  | 令和5年度日韓青年親善交流のつどい                                   |
| (2) 主催   | 内閣府   |
| (3) 開催期間 | 令和5年(2023年)8月25日(金)～27日(日)2泊3日                      |
| (4) 開催場所 | インターナショナルリゾートホテル湯楽城(千葉県富里市)                         |
| (5) 参加青年 | 韓国招へい青年 30名(団長、副団長、通訳を含む)<br>日本参加青年 30名<br>実行委員 14名 |



約80名の日韓青年が一堂に会し、交流プログラムを行う

## プログラム内容

8月25（金）	10:30 11:30 12:00-13:00 13:30-14:15 14:40-17:00 18:00-20:30	日本青年施設着、会場見学 韓国青年施設着 昼食 開会式、オリエンテーション アイスブレイク 夕食懇談会
8月26（土）	9:00-12:00  12:00-13:00 13:00-15:00 15:15-18:00 18:00-20:00 20:00-21:00	ディスカッション ①少子高齢化 ②青少年の入試競争 ③日韓の青少年の価値消費（イミ消費） ④メディア・リテラシー ⑤AIによる失業等問題点と解決方法 昼食 文化体験企画 ミニオリンピック 夕食 日韓文化交流の夕べ ・韓国青年によるレクリエーション ・日本青年による文化紹介
8月27（日）	9:00-10:50 10:50-11:00 11:15-11:45 11:45-12:45 12:50 13:50	ディスカッション成果発表 マニト結果発表、3日間の振り返り 閉会式 昼食 施設発 東京駅着、解散

## プログラム詳細

### ● アイスブレイク

初めて出会った青年同士が一人でも多く会話し、互いの顔と名前を覚え、3日間で深い友情を育むきっかけとなるようなプログラムを行った。

自分を表すキーワードを書き込んだ名札作り、ビンゴ用紙に書かれた質問を投げかけ合ってビンゴを目指す「自己紹介ビンゴ」、日韓の音楽を使った「椅子取りゲーム」、日韓混合グループによるフォトブース制作の四つのプログラムで構成し、青年同士の緊張が和らぎ、最高の滑り出しとなった。





## ● ディスカッション

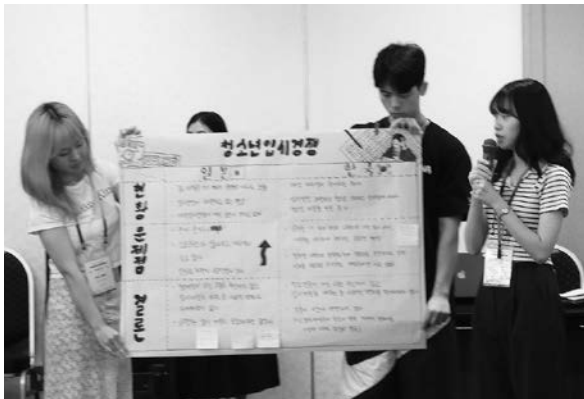
「少子高齢化」「青少年の入試競争」「日韓の青少年の価値消費」「メディア・リテラシー」「AIによる失業等問題点と解決方法」の五つのテーマでディスカッションを行った。

青年たちはテーマごとにグループに分かれ、自国の現状や問題点を紹介するとともに、共通点や差異を見出しながら、課題の解決方法や望ましい方向性等について積極的に意見交換した。最終的には成果発表を行い、テーマごとに「私たち青年が社会に求めること」を全員と共有し、有意義な時間を過ごした。

### 【ディスカッションテーマ】

- ①少子高齢化
- ②青少年の入試競争
- ③日韓の青少年の価値消費（イミ消費）
- ④メディア・リテラシー
- ⑤AIによる失業等問題点と解決方法

### 【ディスカッション成果】



## ● 文化体験企画

互いの文化を体験する時間として、二部構成で進めた。前半はお六つのブースを設け、両国の伝統的な遊びを楽しめるようにした。日本側は、羽子板、独楽、けん玉、お手玉、折り紙、福笑い、浴衣と制服の試着、韓国側は、チェギ（蹴鞠）、コンギ（お手玉）を用意し、遊びながら互いの文化を教え合った。

後半は、ミニオリンピックのチームに分かれて丸うちわを制作した。うちわにはチーム名を描いてもらい、チーム内の交流が深まる時間になった。



### ● ミニオリンピック

日韓混合の6チームに分かれ、チーム対抗で点数を競い合った。

日本と韓国にまつわる○×クイズ、制限時間内に相手チームの色のオセロを自分の色に引っ繰り返して数を競うゲーム、チームで手をつないで全員がフラフープを通り抜けるまでのスピードを競うゲーム、ピンポン玉を乗せたレンゲを持ってリレーをしてスピードを競うゲームの4種目を行った。

チーム内でコミュニケーションを取りながら協力し合って仲を深めた。チームワークをいかして優勝したチームには景品も与えられた。



### ● 日韓文化交流の夕べ

日韓両国の青年たちが、準備してきた自国の文化を紹介し合った。

韓国青年は、韓国の食や夏の行事に関するプレゼンテーション、歌唱パフォーマンスを披露したほか、レクリエーション（ゲーム）を準備して全員で楽しんだ。

日本青年はファッションショーを準備し、浴衣や制服、道着等の日本らしい衣装を着用し、流行しているダンスや、空手や少林寺拳法の型を披露した。

最後には、テーマにちなんで全員で「まるっと」円になって盆踊りを踊り、韓国青年は日本の夏を体験する機会になった。



### ● 3日間を通じたプログラム「マニト」

「マニト」は「秘密の友だち」を意味するイタリア語であるが、ここでは1980年代に韓国で流行したゲームを指す。

初日に自分のマニトと三つのミッションが書かれた紙が青年たちに渡された。マニトは自身とは異なる国の青年がランダムに指定され、決められたマニトに対し、相手に気づかれないように毎日ミッションを一つずつ行った。

3日目の振り返りの時間には、マニトの答え合わせとして、自分がミッションをした青年、自分にミッションをした青年と手をつないで「まるっと」円になり、つどいの締めくくりとなった。

